



6月はいのちを見つめる強調月間

6月1日はいのちを見つめる日です。佐世保市民にとって忘れられないこの日。昨日は市内すべての市立小・中学校で校長がいのちについての話をしました。

17年前に起こった事件について、学校では子どもの発達段階を考慮して話していません。しかし私たち大人は、忘れることなく思いを受け止め、つなげていきたいと思っています。

全校朝会で、今回は競泳選手池江璃花子さんの命の話をしました。(裏面参照) 学級でそれぞれ動画も見ながら発達段階に応じた話ができそうです。子供たちが命について考えるきっかけとなればよいと思います。

6月はいのちを見つめる強調月間で、学校では以下のような取り組みをします。ご家庭でもぜひ命について考える機会としてください。

授業参観・懇談会・学校保健委員会を実施します

6月の授業参観について別紙でのご案内の通り、実施いたします。強調月間にちなんで、今回は全クラス道徳授業を公開いたします。

お子様の学びの様子を、是非この機会にご覧ください。

また、学級懇談会も実施いたします。子供たちのチームワークはまず大人から。親が仲良くなれば、自然に子どもたちも仲良くなります。この機会に、是非いろんな話を交換してみましょう。

6月11日(金) 授業参観	14:00~
学級懇談会	15:00~
学校保健委員会	16:00~ (保健体育部の皆様)

学校開放週間は自由にご参観いただけます

11日(金)~17日(木) (8:30~16:30)

この機会には、授業中や給食時間、昼休みの時間など自由にご見学いただけます。見学される際には職員室に一声おかけください。また、マスク及び名札の着用・手指消毒・検温・名簿記入についてもご協力をよろしくお願いいたします。

学校支援会議を行います

15日 14:00~15:30

PTA 会長・副会長、地域の方々、ボランティアの皆様を学校支援会議にご案内しています。学校支援会議とは、学校の教育活動を家庭・地域ぐるみで支援しようとする取組です。今年度の取組について話し合い、計画を立てるほか、校内の様子や授業も参観していただきます。

ふれあい給食、ふれあい会は延期します

例年実施しておりました、地域の方々や学校支援ボランティアの皆様をお招きしてのふれあい給食・ふれあい会ですが、今年度はコロナ感染症予防の見地から、現在のところ実施を見送っています。もし、感染の状況が改善すれば、今後形を工夫しながら実施したいと思っています。その際には改めてご案内いたします。

6月の行事

- 1(火) いのちを見つめる日全校朝会
- 2(水) 委員会活動③・体重測定(高)
- 3(木) 体重測定(低)
- 4(金)~11(金) 個人面談
- 8(火) 聴力検査(3・5年)
- 9(水) 聴力検査(1・2年)
- 10(木) 青少年劇場(劇団風の子)
- 11(金) 授業参観(道徳授業)
学級懇談会・学校保健委員会
- 11(金)~17(木) 学校開放週間
- 15(火) 学校支援会議
- 14(月) 読み聞かせスタート
- 15(火) チャレンジTスタート
- 18(金) フッ化物洗口スタート
- 22(火) はまゆう号
- 23(水) 児童集会・クラブ活動②
- 24(木) 眼科検診(1年)
- 29(火) 佐世保空襲平和記念集会
6年生音楽体験学習?
- 30(水) 共遊



「池江璃花子さんの いのちのお話」***** (画像 NHK より)

はなやかな かつやく



- ・中学生で世界選手権の代表
- ・リオ五輪での活やく(高1)
- ・たくさんの世界大会でゆうしょう
- ・日本新記録 11

限界はないと思っていた

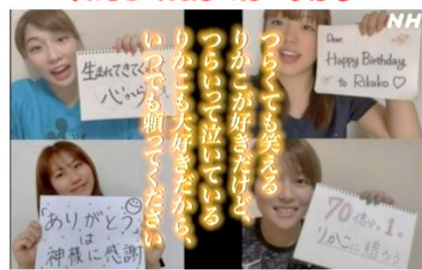
そうぜつな どうびょう生活



- ・かみの毛がぬけおちる
- ・一日5回 はく
- ・食よくがなく やせていく
- ・つらい毎日

死んだ方がいいんじゃないかって思っちゃった時もありました

支えてくれたのは なかま



生えてきてくハゲハゲ
つらくて泣いてる
りかこが好きなだけ
つらくても笑える
りかこが好きだから
りかこを頼ってきたから
Happy Birthday to Rikako
70歳1.2
ありがとうございます
神様へ感謝

そして……



オリンピック出場決定

日本選手権
オリンピック代表をきめる試合
100Mバタフライ

ゆうしょう!

努力(どりょく)は必ずむくわれる

命があることに意味がある



わたしたちに
あたえられた
いのちには
いみがある

今日は、水泳選手池江璃花子さんの命のお話をしたいと思います。みなさんは、池江璃花子選手を知っていますか？

池江さんは小さい時から水泳選手を目指し、小学生の時には全国大会で優勝するほどでした。中学生で世界選手権の代表になり、高校生ではリオオリンピック代表として何と7種目に出場、日本新記録を次々に更新して入賞を果たしました。また、2018年にはアジア大会で6個もの金メダルを獲得し、日本では敵がいな

いほどの華やかな活躍をしていました。だれもが、2020年の東京オリンピックで池江選手の活躍を疑わなかった2019年。池江選手は突然白血病という恐ろしい病気にかかってしまったのです。白血病とは血液のがんで、命に関わる重い病気です。重い病気とは、病気の進み具合によっては、亡くなってしまうこともあるということです。オリンピックの開催1年前、池江選手が19歳の時でした。

入院してから、壮絶な闘病生活が始まりました。強いお薬のせいで、体は痛く、髪の毛は抜け落ち、一日に5回も吐いてしまいます。食欲もなく、池江さんはだんだんやせ細って心も体も弱くなってしまいました。「死んだ方がいいんじゃないかって思っちゃった時もあった」ほど、つらく苦しい毎日でした。

1年越しの闘病生活の後、退院した池江選手はやせた体で、再び泳ぐことを目指して、トレーニングを続けました。筋力が落ちてしまっていて力が入りません。それでも、また泳ぐんだと強い気持ちをもってトレーニングを続けました。夢を諦めない強い気持ちだけが、池江選手の力になりました。

病気でプールを去って406日目、再び泳げるようになって、心から嬉しく思いました。「泳ぐって楽しい」と再認識したのです。そして、試合にも復帰しました。しかし、病気だったので、元のように1位では泳げなくなっていたのです。1位になれなくなった池江選手は苦しみました。そんな池江選手を支えたのが仲間でした。「つらくても笑える璃花子が好きだけど、つらいついて泣いている璃花子も大好きだから、いつでも頼ってください。」

運命が味方したのか、東京オリンピックが1年延期。そのオリンピック選考会の日本選手権。応援している人はかたずをのんで見守りました。そして、見事に優勝！オリンピックに出場が叶ったのです。泳ぎ終わった後、池江選手は涙が止まりませんでした。周りの人たちの拍手もいつまでも止まりませんでした。

池江選手のインタビューでの言葉です。「自信がなく、自分が勝てるのはずっと先のことだと思っていました。勝つための練習はずっとやってきたし、自分がどんなに辛くてしんどくても、**努力は必ず報われるんだ**と思いました。」

池江選手は、オリンピックの出場を決めたのです。

病気から見事復活して、オリンピックへの切符を手にした池江選手。池江選手はこう語っています

「病気になったからこそわかること、考えさせられること学んだことが本当にたくさんありました。」

池江選手の復活から、私たちはいろんなことを思い、学ぶことができます。私たちには命があります。その命があること意味が

あります。わたしたちは、生きているだけですばらしいのです。皆さんにも、きっと命を与えられた意味があると思って、これからひよっとしたら池江選手のようにつらいことがあるかも知れないけどいつか必ず乗り越える日が来るから、自分の命を大切にしていって欲しいと願います。
